

令和2年9月25日 校長 高倉 満

## □一年の半分以上が過ぎ、あらためてゴールイメージをもちましょう！

本来なら一学期の4月に学年目標や学級目標を決めて取り組みを進めているはずでした。そして思うようにいかない場合が多く、あらためて「3月には、きっとこんなふうに成長している」というゴールイメージをもって、生徒と共に二学期の目標を決めていきます。しかし今年は一学期が短く、職場体験やふれあいキャンプも中止、体育祭も二学期になり先生方が生徒の良さを見つけ、ほめる場面も少なかったはずです。だからこそ二学期は体育祭、文化交流会、修学旅行、日常の生活など、少ない機会が集団に目を向けて生徒同士のつながりを強め深める時だと思えます。

行事の取組はもちろん、授業の中で、つながりを強めるための場や時間を確保することも必要です。

また、一学期に上手くいかなかった生徒に「どうしてお前ばかり・・・」と、無理に押しつけようとする、反発するか、無視するか、諦めるか、さらに問題をかかえる生徒になるかもしれません。

「変わりなさい」というよりか指導の仕方を単線から複線で行う方が良いと思います。例えば授業の中で表現方法を変える、付箋やイラスト、図式化など、思考ツールを変えるやディベートのように、立場を決めて話し合う等。生育歴や家庭環境、特性など生徒の背景は様々です。マイナス行為や現象の非難だけでなく「あなたの気持ちは分かる」と、いったんその生徒の内側の思いを受け入れながら、生徒の得意な事を活かし、みんなに認められることでその子らしさが発揮させられるかもしれません。大変難しく、根気のいることです。だからこそ職員がまとまって指導にあたるのが大切です。ベテランの先生方の経験を若い先生方に伝えていくことも必要ですね。私も残り半年、頑張ります。

## □校内研 指導案検討会 お疲れ様でした。

指導主事3名を迎えての指導案検討会では活発な指導案審議ができて有意義な時間だったと思います。忙しい中に指導案を準備していただいた長先生・秋吉先生・中島先生、お疲れ様でした。各グループでの協議が終わった後、校長室でも盛り上がっていました。

指導主事が「浮羽中は教育事務所活用率No.1ですよ。」と喜んでくれました。何でも褒めていただけるのは嬉しいですね。

10月22日校内研に向けて学習活動内容や手立ての練り直し等、大変だと思えます。職員で協力をしていきましょう。

また10月22日は羽犬塚中の先生方5名がICT活用の視察に来校されます。校内研を参観していただき浮羽中の取組を話したいと思えます。ご協力をよろしくお願い致します。



## □A層～D層データの確認を！

一学期の期末考査の時に、お知らせをしていたように今回の中間考査の結果もA層～D層のデータに入れていきます。時間がある時に目を通していただけたらと思います。特にクラスの生徒や教科での状況を把握しておくことが大切だと思えます。C層、D層の生徒への手立て（支援）への資料にしてください。「職員用⇒令和2年度」に入れます。★令和2年度A～D層データ

## ◇中間面談を行います！

一学期に目標設定をしていただきました。その実施状況や今後の取組について面談をしたいと思えます。また次年度についての先生方の考えや希望も聞けたらと考えています。お忙しい中ですが、10月になりましたら教頭が声をかけさせていただきます。よろしくお願い致します。